助成・寄付寄贈報告

◆ 福島県県外避難者帰還・生活再建支援補助金

◆ 静岡県社会福祉協議会ふれあい基金しずおかの居場所立上助成事業助成金

厚く御礼を申し上げます

研修会・講演会のご案内

◆ 伊豆圏域の不登校ひきこもりサポート「とっこ」開設記念特別講演会　『不登校ひきこもり講演会&相談会』

講演会（定員 100 名）　講師　静岡大学学術院教授　江口昌克先生　／　個別相談（要予約 6 組）

日時：9 月 29 日（土）　受付 13:00　講演会 13：30～　個別相談 15:15～

場所：修善寺総合会館　大研修室　参加費無料　参加申込およびお問い合わせは Be サポートまで

◆ 定期研修会　参加費：Be サポ会員無料、非会員 1,000 円

参加資格：スクールカウンセラー、支援員、教員など、守秘義務を課せられた専門職の方が参加できます。初めて参加される方は Be サポートまでご連絡ください。

①「子どものそだち研修会」　9/19、11/2、1/16、3/20　18:30～21:00　奇数月水曜日開催

場所：プラサヴェルデ

子どもの育ちを支援する専門職による事例検討勉強会です。支援者ネットワークとしても生かされます。

②「東部アセスメント研究会」　10/17、12/19、2/20　18:30～21:00　偶数月水曜日開催

場所：プラサヴェルデ

心理検査の事例検討を中心とした研究会です。参加者同士で意見交換をしあい、学びを深めます。

Be サポート業務一覧

相談・カウンセリング事業

カウンセリング、プレイセラピー、各種心理検査

医療・保健・福祉・教育等 地域機関への協力

静岡県ひきこもり支援センター居場所設置運営事業

伊豆市・伊豆の国市・清水町 母子保健事業

（乳幼児健診・発達相談・療育教室）

函南町・清水町・伊豆市教育委員会

（就学支援・特別支援教育・巡回相談）

伊東市・富士市 市民メンタルヘルス相談

県および市町主催ゲートキーパー養成事業

県立高校スクールカウンセラー・学校支援心理アドバイザー

NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター

社会的養護関係施設第三者評価事業

不登校・ひきこもり支援事業

伊豆圏域不登校ひきこもりサポート「とっこ」

被災者支援事業

東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

企業・事業所への支援事業

メンタルヘルスカウンセリング

企業研修会への講師派遣

研修・啓発事業

専門職対象の定期研修会開催

一般市民対象の講演会開催

児童発達支援事業

障害児・者総合サポートセンターみつばち

（児童発達支援「あんず」・放課後等デイサービス「かりん」

保育所等訪問支援

指定計画相談支援・指定障害児相談支援）

Be サポート　会員募集

NPO 法人とは利益を目的とせず、社会や地域のニーズを追求し応える活動を行う団体です。臨床心理士を中心とした有志で Be サポートを設立しました。専門的な視点から地域のさまざまなこころの問題に取り組んでいます。現在、正会員 56 名、賛助会員 4 名、学生会員 1 名（2018.4 時点）で活動しております。私たちの活動を応援してくださる会員の方を募集しております。会員の方へは会報誌の送付、研修会や講演会の参加費用免除が適用されます。また地域で働く援助職の方には、ネットワークづくりとしても活用していただいております。会員登録を希望される方は Be サポート事務所までご連絡ください。

特定非営利活動法人　臨床心理オフィス　Be サポート

クローバー通信

2018 年 9 月 1 日発行　Vol.18

NPO 法人 臨床心理オフィス
Beサポート
〒4100056 沼津市高島町 29-11 盟萌ビル 201
Tel/Fax　055-925-1701
Mail　be-sapo@mail.wbs.ne.jp
HP　http://be2011.jimdo.com/
発行責任者　皆川行寛

あまえと間主観性研究会　に参加して

Be サポート理事　三須友恵

皆さんは、間主観性という用語をご存知でしょうか。私は不勉強のため、これまで聞いたことがありませんでした。その言葉を耳にしたきっかけは、当法人の会員の方に、「あまえと間主観性研究会」について紹介してもらったことです。

「間主観性とは？」「あまえとの関係は？」といった、様々な疑問が浮かぶなか、7 月 28 日（土）29 日（日）と茨城県水戸市で行われる第 10 回あまえと間主観性研究会に、紹介して下さった会員の方と一緒に参加してきました。

今回の研究会の大きなテーマは、「あまえ子育てのすすめ」というものでした。そこで最初に間主観性とはなにか、というお話を研究会会長から伺うことが出来ました。母親は赤ちゃんをみて「お腹が空いているのね。」「眠いのかな」「オムツが汚れて気持ち悪いのね」など、赤ちゃんの心を感じ、それに応じます。また、赤ちゃんは、母親がイライラしているとそれを感じとり激しく泣くことがあります。母親と赤ちゃんの間には「言葉」はなく、お互いの仕草や表情から相手の心を感じ合います。そういった、非言語的な心の響き合い、非言語的なコミュニケーションを間主観的な相互作用というとのことです。

最近の情報システムの発達により、育児に関する情報や知識は玉石混交状態です。特に子育てに不安を持つ親は、知識・情報に頼り、多すぎる情報に混乱し、振り回されることが多いように感じます。そういった風潮に対し、知識や情報に偏った子育てではなく、心の響き合いである、「間主観的な相互作用による子育て」とは、親子の情緒交流を何よりも大切にしている子育てです。理屈ではなく感じ合うことを楽しむことが大切な子育てなのではないかと思いました。目の前の子どもと向き合い、その子が母親にどうしてほしいと思っているのか、それを感じて応じていくことが、子どもの情緒の安定につながるのではないでしょうか。そのためには、母親に、子どもの甘えたい気持ちに気づく力、子どもに寄り添う力が求められます。臨床心理士の役割を考えると、母親の子どもに寄り添う力を支えることなのではないでしょうか。

「間主観性」という聞き慣れない言葉でしたが、日々の子育て支援業務の中で感じていることと同じであることを学ぶ機会となり、研究会をご紹介くださった会員の方に感謝しています。

来年度の研究会は、その会員の方が「あまえと間主観性研究会」の実行委員長となり、伊豆市で開催されることになっています。伊豆市からは子育て支援事業・教育関連事業の委託などお受けしていることもあり、Be サポートはこの研究会に全面的にバックアップをしたいと考えています。保育士、教員、子どもに関わる支援者にとって、とても参考になるお話が沢山聞ける研修会になると思います。ご興味のある方は、来年度、是非ご参加ください。

活 動 報 告

伊豆圏域の不登校ひきこもりサポート「とっこ」

今年度５月 18 日から、不登校引きこもりをサポートする居場所「とっこ」の運営を続けています。当法人が開所以来、地域のニーズに応えたいと願い始めた事業です。

伊豆市社会福祉課の多大なご理解のもと、伊豆市生きいきプラザの一室を毎週金曜日午後に無償で提供していただいています。１時から４時までは「当事者のためのフリースペース」、４時から５時までは「当事者やご家族の無料相談」を行っていますが、予想を超えるご相談や問い合わせがあり、フリースペースには目下、伊豆市内・周辺市町の方７名が登録されています。

フリースペースでは、ペーパークラフト、手芸、ゲーム、クッキング、軽いスポーツ、または参加者が持参したワークなどを行っています。参加者の方の体調、気持ち、希望を優先しながら、活動が軌道に乗ってきたと感じています。参加者同士がさりげなく戸惑いをフォローする姿や、明るい表情が見られると、スタッフも嬉しくなります。狩野川の清流の音を聞きながら、居場所は穏やかで温かい雰囲気に包まれます。

活動を展開し始めたばかりの新しい事業です。今後も参加して下さる方のお気持ちや意見、感想を大切にして、また、ご家庭、市町福祉課、学校、保健センター、医療などとも連携しながら、無理せずゆっくりと歩んでいける場の提供を心掛けたいと思います。

また、この事業のスタートを記念して、当法人としては初めて、伊豆市にてひきこもり講演会を開催することといたしました。当法人の顧問でもある静岡大学大学院　江口昌克教授から、不登校やひきこもりの当事者へご家族がどう関わればいいかについてお話し頂きます。また、当日個別相談会も併せて行います。いずれも参加費無料ですので、ぜひご参加ください。

相談支援従事者初任者研修を受講しました

Ｂｅサポートでは、児童福祉法に基づく児童発達支援事業と障害児相談支援事業、および障害者総合福祉法に基づく相談支援事業を行っています。その事業運営や管理業務には、相談支援従事者初任者研修を受講する必要があります。既に３人のスタッフが受講済みですが、私もこの夏受講しました。

受講したスタッフから５日間詰め込みの大変な研修だと聞き覚悟していたのですが、初日、まず受講者 600 人の規模に圧倒され、居眠りなど受講態度が悪いと修了書は出さないとの念押しにビビり、県立大学の講堂の固い椅子に８時間座り通しで、身体もお尻もガチガチになりながらの受講でした。

研修では、ケアマネジメントに必要な基本的な知識、障害者総合福祉法に基づくの障害福祉行政、相談支援専門員に必要な資質やスキルを学び、実際に支援計画を立てる実習も行いました。初めて知る分野の話もあったのですが、心理士としての活動に通ずることも多く、興味深い研修会でした。また、参加者は福祉施設のスタッフの方が多く、グループワークを通じて他の放課後デイの活動の様子や、重度心身障害者施設のお仕事の様子なども伺うことができ、視野が広がりました。この研修の成果を今後の事業に生かしていければと思っています。

活 動 報 告

障害児・者総合サポートセンター「みつばち」

８月 20・21 日、みつばちの第３回目の夏まつりが行われました。

初年度は、とにかくやってみよう！と計画。２年目は、「昨年は〇〇だったので、△△しよう」と、工夫。３年目の今年は、新しい事を何かやりたい！！「夏といえば、おばけ！そうだ！！おばけやしきをやろう！！」２階の真ん中の部屋を使ってどの様にしたら、怖がりながらも楽しめるか…。

・暗くする
・音楽をかける
・ブラックライトを使って、光るおはなしを読む

はじめに思いついたのは、この３つ。次に考えたのは、

・ガイコツおばけをどう作る？どうおどかす？
・こんにゃくの代わりは…冷えピタ！
・動いておどかす物は…ぜんまいネズミ！！

などなど、準備を終えて、いざ当日♫…暗幕が思った以上に重く、子どもたちが入る時になって外れてしまうというハプニング(;>o<;)ワラワラしましたが、音楽をかけて、スタート！！

職員渾身の力作に
子どもたちも大騒ぎ!!

音楽と暗さで、**「こわい～！」**と中に入れない子、**「な～んだ、入ったら怖くないや」**と言う子、**「楽しかった～」**とニコニコの子、と、様々でしたが、『何が起こるのか！ドキドキ☆』の緊張感。『よし、入るぞ！』という勇気。『暗い中でのおはなし』など、普段と違う体験をしてもらえたので、おばけやしき第１弾は成功と言うことで*¥(^o^)/*
終了後、かりんさんの子から「こんなおばけやしきはどう？」と設計図を見せてもらい、早くも来年のおばけやしき第２弾に向けて想像が膨らんでいます！！

県ひきこもり支援センター居場所設置運営事業「なごみ」

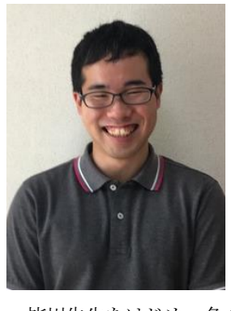
「なごみ」では、その日に利用者さんがやりたい事をメインに活動を行っています。その活動の一部を紹介します。

農業で自立したいと考えているＯさんは、自宅の畑で野菜を作っています。この日は、畑でとれた作物を持参してくれました。たくさんのジャガイモと、きゅうりとトマトを持ってきてくれたので、カレーライスを作りました。また、きゅうりとトマトはサラダにしました。近くのスーパーでにんじんや玉ねぎ、ハムを購入してカレー作りに取りかかります。

スタッフに勧められて、最初は及び腰だったＯさん、恐る恐る包丁を握ります。スタッフの細かい注意に軽口を言いながらも、上手に包丁で野菜を刻んでいきます。だんだんと慣れてきて、細かいきゅうりの斜め切りもできるようになりました。カレーはとろみがついている方が好みということで、じっくりコトコトと火を通して完成です。

さて、実食では「普通にこんなもんでしょ」と言いながらも完食し、まんざらでもないようでした。

新人スタッフ紹介します！



今年の４月より Be サポートで働くこととなりました、森山と申します。徳島出身です。徳島というと阿波踊りのイメージが強いかもしれませんが、徳島ラーメンも名物で、私の好物です。

皆川先生をはじめ、色々な方から様々なことを吸収させていただきながら、経験を積み、Be サポートに貢献できるようにしていきたいと考えています。皆さま、これからよろしくお願い致します。